



文化庁 令和5年度日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(九州・沖縄ブロック)

日本語教師養成コンソーシアム 九州・沖縄キックオフイベント



日本語教育機関認定法における 国家資格「登録日本語教員」の役割

～これからの日本語教員養成が目指すもの～



参加定員
130名
(事前申し込み制・先着順)

参加費
無料

小林 克嘉

文化庁国語課日本語教育推進室 室長



2023年5月に「日本語教育機関認定法」が成立し、日本語教師の国家資格「登録日本語教員」の整備が着々と進められています。新たな制度の設立に伴い、日本語教師養成・研修を担う高度な専門人材の育成、地域のニーズに応じた養成を行う人材の育成と確保が求められています。日本語教師の養成・研修、キャリアアップが今後どのような形で実現されていくのでしょうか。登録日本語教員に期待する役割とは、どのようなもののでしょうか。

「日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄(Kyushu Okinawa Consortium for Japanese Teacher Training /九州・沖縄CJTT)」では、九州・沖縄地域の日本語教育ならびに日本語教師養成の質の向上を目指し、さまざまな活動や情報発信を行っていきます。今回のキックオフイベントでは、「日本語教育機関の認定制度および日本語教師の新たな国家資格創設に関する法案整備」をテーマに基調講演を行っていただきます。

2024年3月20日(水・春分の日) 14:00～16:00(受付13:30)

JR博多シティ会議室10階 大会議室 (JR博多駅直結:阪急百貨店側(博多口)のエレベーターをご利用ください)

どなたでも
参加して
いただけます

お申込み

QRコードまたは下記URLよりお申込みください。
<https://forms.gle/noFaSAXVzyhRXcNd8>



プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 14:00 | 開 会 |
| 14:10～14:45 | 日本語教育機関認定法における国家資格「登録日本語教員」の役割～
これからの日本語教員養成が目指すもの～ 小林克嘉(文化庁国語課日本語教育推進室 室長) |
| 14:45～15:10 | 「日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄(CJTT九州沖縄)」について
橋本直幸(福岡女子大学) |
| 15:15～16:00 | 質疑応答 小林克嘉・石澤徹(文化庁国語課)・橋本直幸(CJTT九州・沖縄) |



日本語教師養成コンソーシアム 九州・沖縄

文化庁「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」の委託を受け、福岡女子大学を拠点校として、九州・沖縄地域の日本語教師養成課程をもつ大学・大学院、日本語教師養成機関、日本語学校、自治体、国際交流協会、NPO等団体、経済団体、教育委員会等をつなぐ「日本語教師養成コンソーシアム九州・沖縄(Kyushu Okinawa Consortium for Japanese Teacher Training /九州・沖縄CJTT)」を組織します。

コンソーシアムの趣旨

現在、九州・沖縄地域では、26の大学*1と、25の機関・団体*2で日本語教師の養成が実施されています。日本語学習者の増加やニーズの多様化を背景に、これまで以上に多様かつ専門的な日本語教育が必要とされる中、これらの日本語教師養成機関がお互いに連携し、九州・沖縄地域において、地域の偏りなく質の高い日本語教師を輩出していくことが求められています。慢性的な日本語教師不足が問題となる中、日本語教師養成機関と日本語学校との間の需給のミスマッチを解消することも喫緊の課題と言えます。

また、人口減少を背景に労働力の外国人依存が進む九州・沖縄において、在留外国人との共生社会の実現に向け、自治体や国際交流協会、NPO、経済団体、教育委員会などが、それぞれのニーズに応じた日本語教育の提供を模索しています。日本語教育の知見をもった専門人材がそれぞれの場で活躍できるよう、日本語教師養成に関わる機関と緊密な連携をとることも、九州・沖縄地域の課題解決のためには重要だと考えます。

これらの問題意識の下、本コンソーシアムでは、日本語教師の養成や研修を担う高度な専門人材の育成、九州・沖縄地域のニーズに応じた養成・研修を行う人材の育成・確保を目指し、研修会や情報交換会などを通して、各機関が抱える課題や好事例の共有を行います。また、自治体や経済団体を始めとする参画機関の協力の下、地域が求める日本語教育人材についての各種調査を実施します。さらに、九州・沖縄地域の実情も踏まえながら養成課程修了者の就職支援を始めとするキャリア形成・キャリアアップにつながる取組を模索します。

※1文化庁「日本語教師養成課程を実施する大学一覧」より ※2文化庁「文化庁国語課への届出を受理された日本語教師養成研修実施期間・団体」

事業内容

本コンソーシアムは、九州・沖縄地域の日本語教育ならびに日本語教師養成の質の向上を目指し、「研修」、「調査」、「キャリアサポート」に関する3つの部会を設置し、それぞれ活動を行います。

日本語教師教育者のための 研修部会

日本語教師教育者のための研修部会では定期的に会議を開催し、新たな制度による日本語教師養成に関する動向や各地区の教師養成・研修に関する課題を共有します。さらに、教師養成・研修の質を向上させることを目的とした養成担当者向けの研修及び意見交換会を年2回の頻度で行います。

地域が求める 日本語教師育成のための 調査部会

九州・沖縄地域には日本語教室が開催されていない市区町村が数多く存在します。状況の解消には空白地域が求める日本語教師の育成が必要であり、この部会では、そのためのニーズ調査を行います。

日本語教師を 目指す人のための キャリアサポート部会

日本語教師養成実施機関および認定日本語教育機関、地方公共団体、経済団体、学校教育機関が連携し、相互に利益をもたらすインターンシッププログラムの開発や就職支援のプログラムの開発を行い、日本語教師を目指す人のためのキャリアサポートの体制を整えます。